

長年の懸案新任会長研修会を開催

広報委員会編集部

長らく開催を考えていた、新任会長研修会が、平成29年度にようやく開催にこぎつけることができた。講師は事務局職員で、2月9日福祉ボランティア会館で実施された。

当初、新任の会長か幹部の皆様に膝詰めで談義していただこうと考えていたが、募集に対し50名以上の参加があり講演形式での開催となった。クラブの活動について、いかに多くの会員が疑問点や活性化を考えているかを知ることができた。

内容は、高齢者クラブの運営に関し、その歩みや組織、各地域団体との関係について。高齢者クラブ活動の継続と推進のためには、各単位クラブ、地区高連における活動の充実や、高齢者が住みなれた地域で長年培った知識や経験、能力を発揮できる場を作り、若手のリーダーを育成する必要があるとした。

研修の後半は参加者の情報交換にあてる予定であったが、内容が盛り沢山であり、内容に聞き入る参加者の真摯な姿勢に引かれて時間をオーバーしてしまった。今後も、新任会長研修会は、内容を検討しながら継続していきたい。



平成29年度リーダー研修会を開催

広報委員会編集部

各地区・単位クラブの熱心な取り組みが見られる一方、役員後継者や会員の高齢化により活動停滞を余儀なくされているクラブも多い。それに対する答えは簡単にはできないが、そのきっかけに少しでも参考になるようにと、活動事例の発表を2クラブの会長に行っていた。場所は福祉ボランティア会館で2月20日の開催。

最初に、消費生活センター藤咲利江子氏から「新時代をかしこく生きる～高齢者が消費被害に逢わないために～」の基調講演を聴いた。これまでの同様講演と切り口を変えて、予防ではなく実際に被害に遭ってしまったときの事例や対処法についてお話をいただいた。

続いて、住吉町楽寿会森邦男会長から吉沢地区高齢者クラブ連合会の新運営について事例発表。地区高連構成クラブが役員後継者の不在や活動力不足により次々と解散。その再建に奔走した経験と新しい運営方策の模索、今後の見通しについて説明をされた。

次は、寿クラブ会長富岡忠氏による事例発表「寿クラブにおける活動～活動の背景と意図するもの～」。日帰り研修旅行における移動劇場の企画、ふれあいサロン誕生の秘話、スポーツ活動輪投げ部がなぜ強いのかについて、円滑な活動の秘訣を絡めて発表いただいた。

最後に、佐々木会長が研修会を総括し、130名以上の参加者を得た研修会を締め括った。



第44回連合会主催研修旅行「四万温泉と上州の旅」

研修旅行委員長 鈴木 浩三

今年で44回目となる研修旅行は、上州北部方面へ3月6日・7日の一泊での企画に決定した。当日の都合で不参加となった方を除き、ちょうど100名でバス3台での出発となった。近年にない好評で、今後は募集期間の調整など、さらに参加しやすい環境を作っていきたい。



日程は、初日榛名山麓の坂東札所十六番水澤寺、名物の水澤うどんで昼食した後、伊香保にゆかりの竹久夢二記念館を見学。2日目は、イギリス貴族の館を移築したロックハート城、月夜野びーどろパークでガラス器の彫刻体験、猿ヶ京温泉のホテルで昼食し、直売所でのショッピングを楽しむと

いう、盛り沢山の内容のコース。

お泊りは四万温泉の老舗、四万やまぐち館で、4万の病に効くというさっぱりした温泉を、渓谷を間近にした湯量たっぷりの浴場で堪能。宴会では、恒例の会員各位による演芸大会、この日のために準備したかくし芸が沢山飛び出し、大いに盛り上がった。宴会のあとも、コマーシャルにも出演している宿の名物女将の紙芝居や大太鼓演奏と、最後まで楽しむことができた。

春浅い上州の山間には、まだ残雪も見られたが、それを溶かすような会員の熱意と、大きな事故もなく旅行を終了できたことに、感謝申しあげたい。



私たちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--

--

女性委員会久しぶりの研修旅行

女性委員代表 青木 高子

女性委員会では、複数の委員からの提案があり、親睦を兼ねて長年開催が中断されていた研修旅行を1月15日に行いました。参加者37名で、行き先は福島県母畑温泉です。

当日は、厳冬期にも関わらず素晴らしい快晴で、心配された雪はまったく無くて、晴ればれとした気持ちで行って行くことができました。当日は、まず第5回の女性委員会を行い、2月16日に予定される女性委員代表者研修会の打合せや、来年度の事業計画、今年度の反省点などを検討いたしました。

親睦では、母畑温泉八幡屋でのお食事会と、そのあと石造りの素晴らしいお風呂で、一同心身ともにリフレッシュすることができました。

行き帰りには、新しくできた道の駅常陸大宮で、地元のお土産を買うこともでき、女性委員間の絆を強めることができるとともに、大変有意義に過ごせた一日となりました。

高壮だより水戸 投稿「大」歓迎

「高壮だより水戸」は、年二回発行しています。広く皆様の投稿をお待ちしています。
特に、写真の添付は大歓迎です。（※編集後にお返しいたします。）

「高壮クラブ」 会員の皆様の任意投稿コーナー

日頃感じていること、旅行やスポーツのこと、健康や長生きの秘訣、戦争や仕事・子育てなど人生の体験談、ボランティアや社会奉仕のこと、地域の話題や歴史紹介 などなど

「文芸コーナー」 短歌、俳句、狂歌、川柳の投稿コーナー

お一人2首(句)まででお願いします。種別を書き添えてください。（※現在撰者を務める方がいないので、掲載順は不同、添削もいたしません。）

「クラブの活動紹介、報告」 単位・地区・ブロック等の活動紹介

運営の苦労話、こうしたら会員勧誘に成功、お勧めしたいユニークな活動例、スポーツ大会や研修旅行その他の活動報告、お達者クラブやふれあい事業の報告、サロン活動や女性部会の活動 などなど

- 編集・デザイン・広告は(株)博報社関東支社の御協力をいただき、印刷・送料は広告掲載料でまかっています。
- 原則として原稿は返却しません。
- 文章の修正は、編集会議で行いますので御了承ください。
- 投稿者の「氏名」「クラブ名」「住所」「電話番号」を必ず記入してください。

◆投稿先

〒310-8610 水戸市三の丸1-5-48
水戸市高齢福祉課内
水戸市高齢者クラブ連合会事務局あて
FAX:029-232-9112

第24回女性委員会代表者研修会を開催

広報委員会編集部



2月16日、福祉ボランティア会館において第24回女性委員代表者研修会が開催され、女性委員ほか114名の参加をみた。

はじめに、講師の水戸市消防本部・鬼澤秀和氏から「わが家の防火対策～火はどうすれば消せるの?～」の演題で、家庭でもし失火してしまったときの対処法や、消防活動の知られざる面など興味深いお話を伺った。万一のとき、あわせてに対応できる基礎知識と心構えをもっておきたい。

休憩を挟んで、地区代表女性委員による事例発表。双葉台地区・谷津敬子氏は、地区高連における女性委員の活動を発表し、クラブの活動や事業のPRを会員一人ひとりが自覚をもって根気よく継続、参加しやすい企画で引きこもりがちな高齢者をなくしたいと締め括った。

続いて、寿地区桑名サチ子氏からクラブ活動における、現状と課題について発表をいただいた。ふれあいサロンの必要性和その行動について、企画のキーワードや会報誌の果たす役割などを説明、サロンの目的は、楽しむことで「認知症にならない、寝たきりにさせない」で、予防のために楽しんで学べる、体験ができる、心の触れ合いサロンにすることであると提案した。

温泉と健康について学ぶ

広報委員会編集部

平成29年度健康づくり・介護予防講座は、茨城大学大学院教授日下裕弘氏をお招きして、福祉ボランティア会館において2月28日に行われた。

日下氏は、まず温泉の定義やその発生についてのメカニズムについて分かりやすく触れ、そのあと安全な温泉浴の方法として半身浴の勧めや泉質による効能の適用についてプロジェクターによる映像を交えてお話しされた。

後半は、日下氏の訪れた全国の温泉がドイツなど海外の温泉に比べて非常に優れていることや、強力な酸性泉の秋田・玉川温泉で経営者から伺った秘話など、時間が足りないくらいの面白い講演となった。

日頃から、高齢者が旅行や休養でなにげなく利用している温泉について、意外な事実や安全で健康に良い入浴法を教授され、今後大いに活用していきたいと感じた。

また、当日は米国から帰国した日下氏のご子息と米国人のご夫人も駆けつけ、豊富な資料や貴重な記録の展示についてご協力を頂いた。

今回の参加者は140名近くとなり、展示品とあまって会場に入りきれぬか心配されるような盛況で、会員の熱意を感じ取れる講座となった。



私たちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--

--